

# 2021年12月期 第2四半期 決算説明資料

---

メディカル・データ・ビジョン株式会社  
(証券コード：3902)

2021年8月10日

<b>1</b>	<b>2021年12月期 第2四半期 決算概要</b>	-----	<b>3</b>
	 <b>第2四半期業績好調</b>		
<b>2</b>	<b>2021年12月期 配当予想・業績予想</b>	-----	<b>9</b>
	 <b>配当予想・業績予想を上方修正</b>		
<b>3</b>	<b>MDVの成長戦略</b>	-----	<b>11</b>
	 <b>既存事業の成長加速と将来成長のための積極的投資</b>		

## 2021年12月期 第2四半期 決算概要

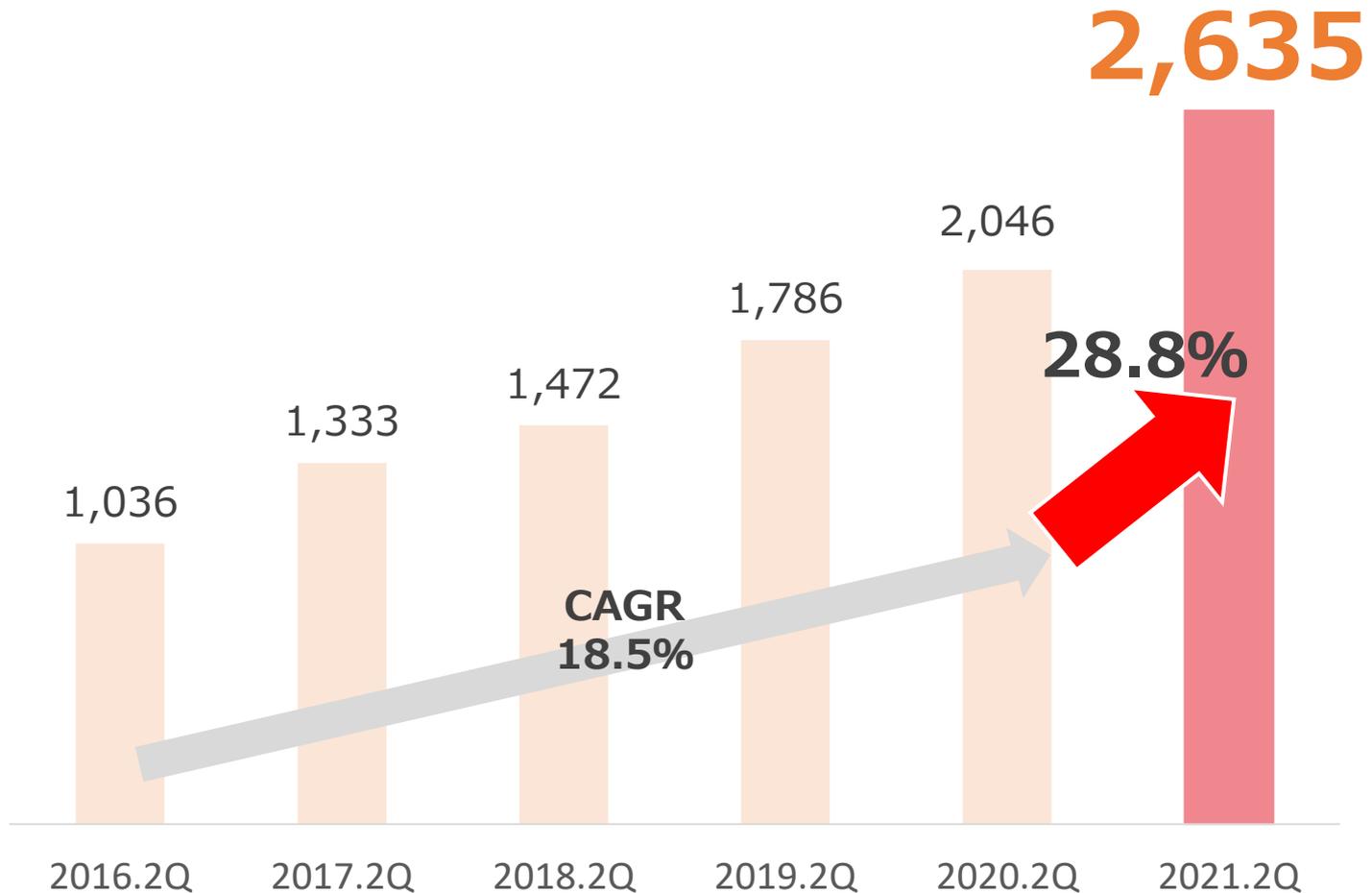
## 2Q業績好調

## 売上高成長加速、利益率も向上

単位：百万円	2020年 2Q	2021年 2Q	前年同期比
売上高	2,046	2,635	+28.8%
営業利益	475	720	+51.4%
経常利益	476	719	+50.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	319	484	+51.7%
営業利益率	23.2%	27.3%	+4.1P
経常利益率	23.3%	27.3%	+4.0P
親会社株主に帰属する 当期純利益率	15.6%	18.4%	+2.8P

## 売上高成長加速

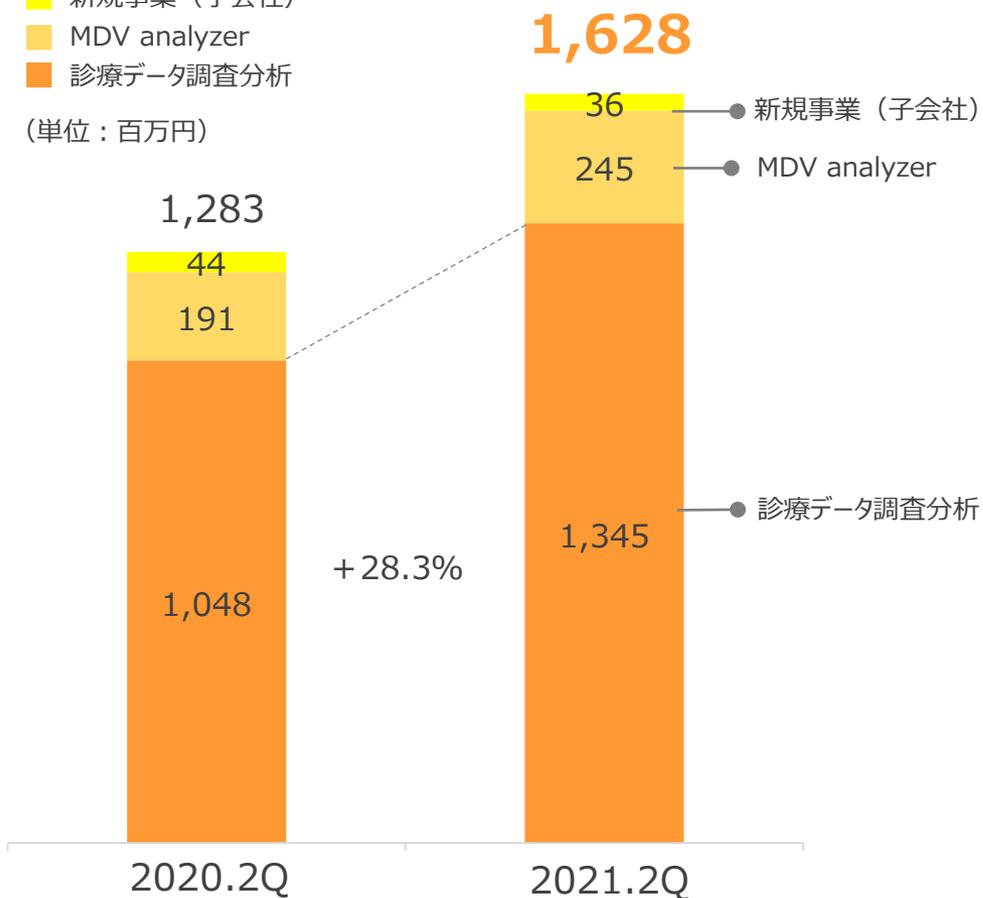
データ利活用サービス好調、新規事業(子会社)好調



## 圧倒的な量・質の診療データベースでポジションを確立 環境も追い風となり、成長加速

- 新規事業（子会社）
- MDV analyzer
- 診療データ調査分析

(単位：百万円)



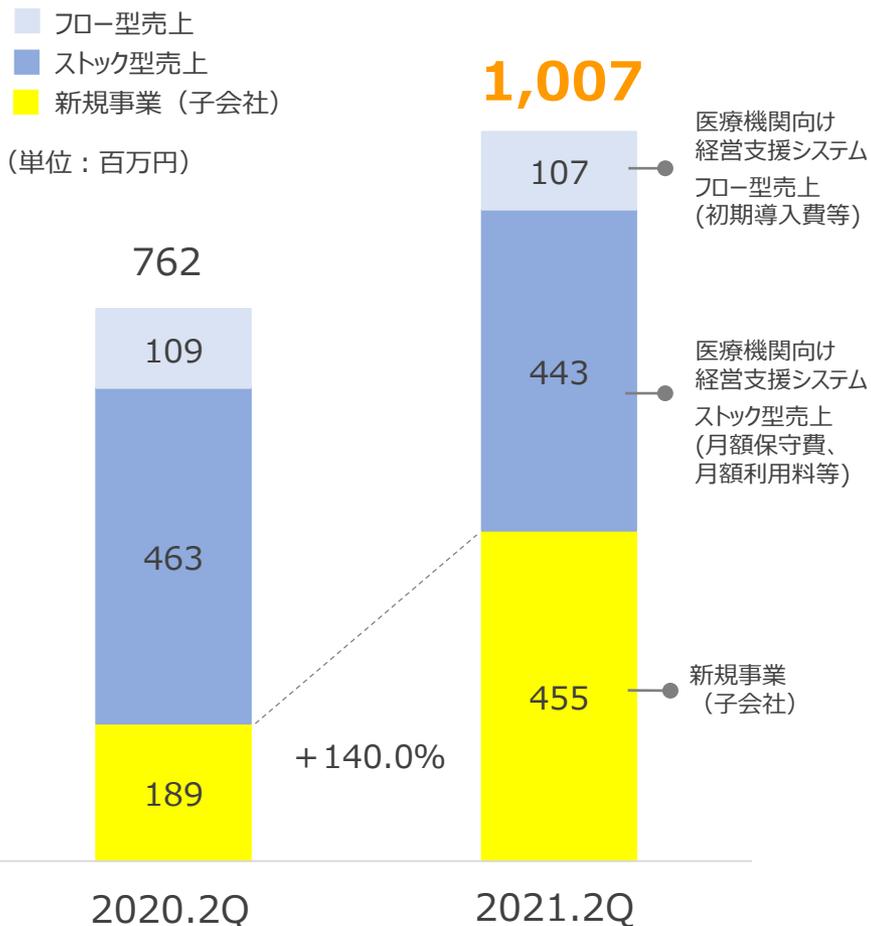
### ● 診療データ調査分析

- ・案件数 前年同期比 +29.9%
- ・単価 前年同期比 +19.1%

### ・COVID-19関連調査

- ・外資系製薬会社ヘッドオフィスなどからの案件増加中

## 新規事業（子会社）好調



### ● 新規事業(子会社; Doctorbook、システム ビー・アルファほか)

#### Doctorbook

- ・歯科医向けオンラインサービスが引き続き好調
- ・医科向け事業も順調に業績伸ばす

#### システム ビー・アルファ

- ・今期から子会社化した健診システム会社
- ・新規連結効果による業績貢献
- ・健診など未病領域の情報集積を加速化

### ● スtock型売上

- ・COVID-19禍でも盤石な安定収益

<売上構成について>

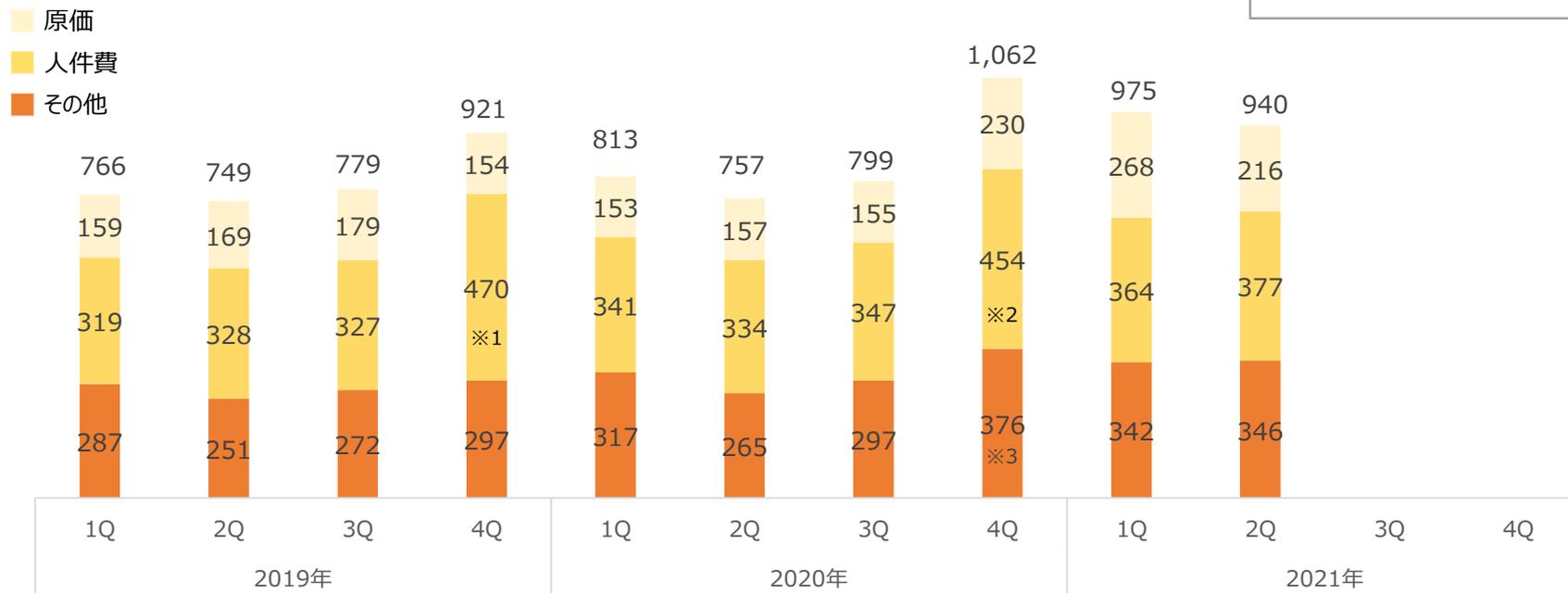
医療機関向け経営支援システムの提供にかかる売上

・フロー型  
EVE、Medical Code、CADA-BOXなどの初期導入費用等

・ストック型  
EVE、Medical Code、CADA-BOX、カンゴッチ+などの月額保守料、月額利用料等

## 将来成長のための人員増強、投資を積極化

	2020.2Q	2021.2Q	増減額	
原価	157	216	+59	・売上原価率 15.6%→17.9% +2.3P ・システム ビー・アルファ新規連結による増加
人件費	334	377	+42	人員増強による増加
その他	265	346	+80	新サービスに伴う研究開発費 (+64M)
合計	757	940	+182	



※1 決算賞与 134百万円  
 ※2 決算賞与 103百万円  
 ※3 新サービス開発関連費用等一時コスト 66百万円

## 2021年12月期 配当予想・業績予想

## 2021年12月期配当予想・業績予想を上方修正

	2020年期末 実績	前回発表予想 (2021/2/8発表)	今回修正予想 (2021/8/10発表)	増減額
配当 (円)	3.6	4.0	5.0	+1.0

単位：百万円

	2020年 実績	前回発表予想 (2021/2/8発表)	今回修正予想 (2021/8/10発表)	増減額
売上高	4,579	5,400	5,450	+50
営業利益	1,146	1,199	1,402	+202
経常利益	1,148	1,200	1,400	+200
親会社株主に帰属する 当期純利益	700	800	950	+150

### <主な要因>

#### ▶ 売上

- ・データ利活用サービスの第2四半期連結累計期間までの好調な状況を勘案

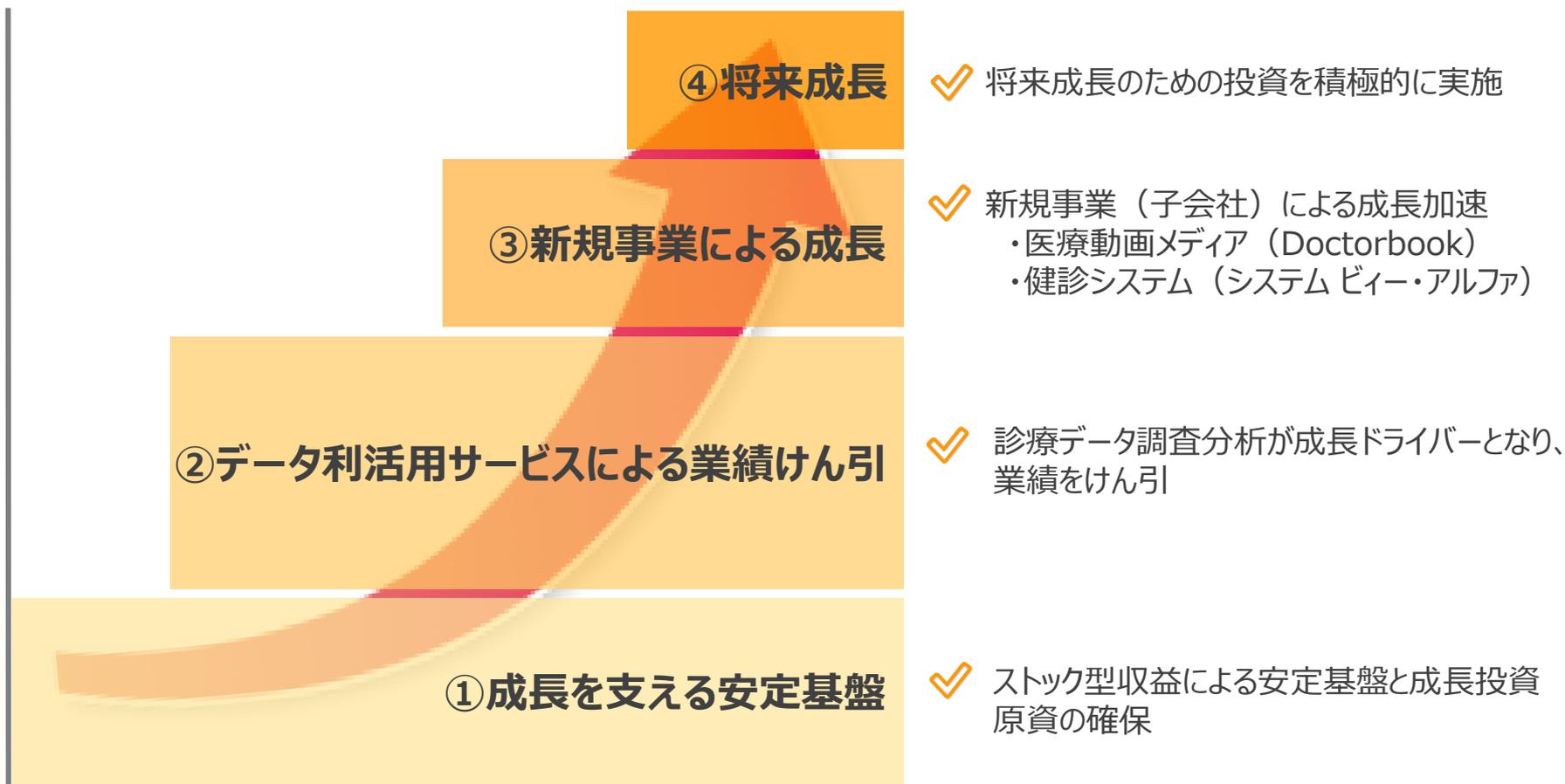
#### ▶ 利益

- ・売上高の上方修正
- ・営業活動のリモート化による経費の減少

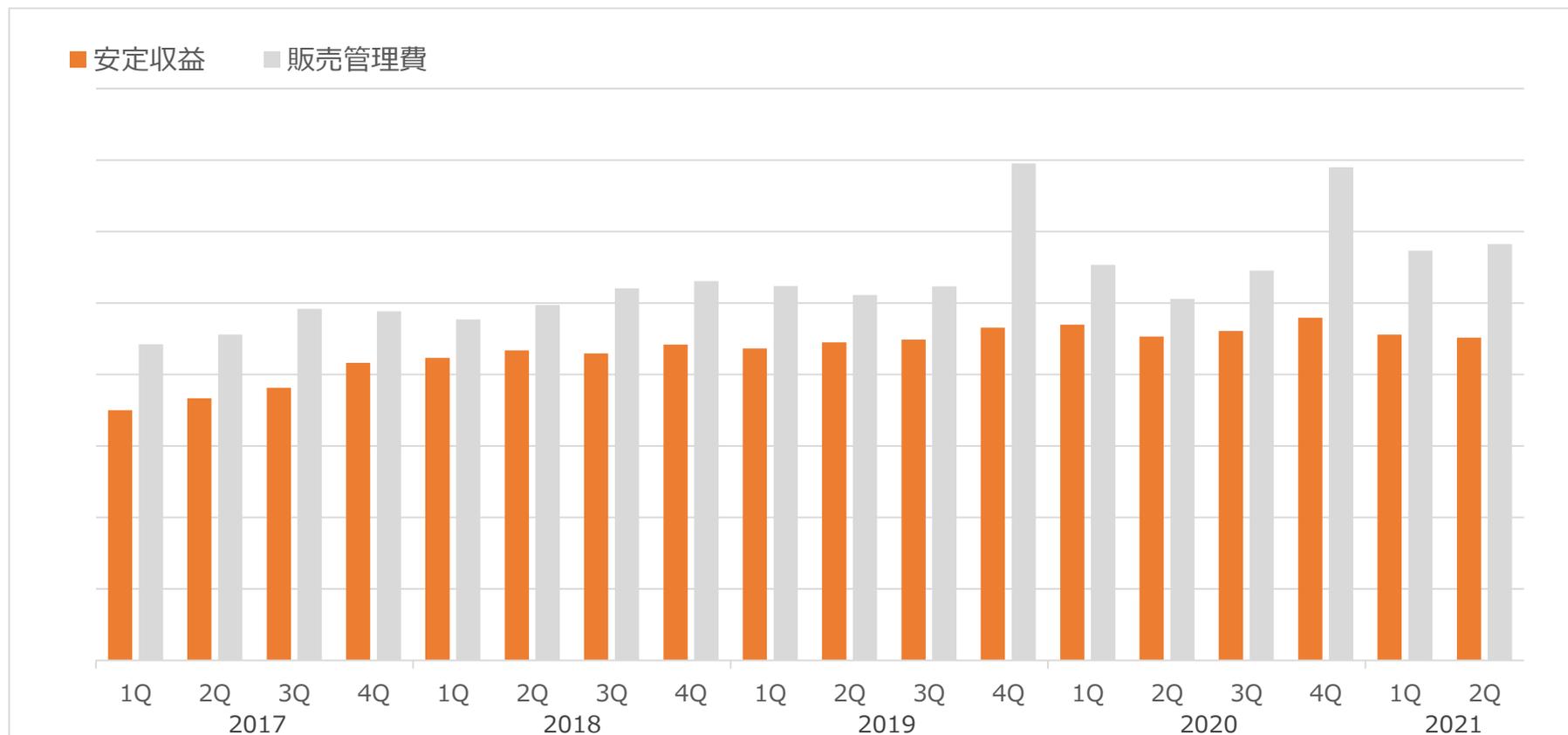
※詳細につきましては、2021年8月10日公表の「通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

# MDVの成長戦略

## 安定収益を基盤に既存事業で成長加速し、将来成長のための投資を積極化



安定収益が販売管理費の約80%をカバー  
⇒ 安定した事業基盤を構築し、成長のための投資原資を確保



※安定収益率

- ・長期契約が見込めるストック型売上高（パッケージ商品のメンテナンス料やMDV analyzerなど）の販売管理費に対する充足率
- ・キャッシュフロー重視の経営をしている当社において重視している社内KPIのひとつ

## ✓ 既存事業の成長加速

### さくらデータバンク（大規模診療データベース）の優位性

- ・**圧倒的な患者数**
- ・**豊富な情報量**
- ・**データ分析の拡張性**

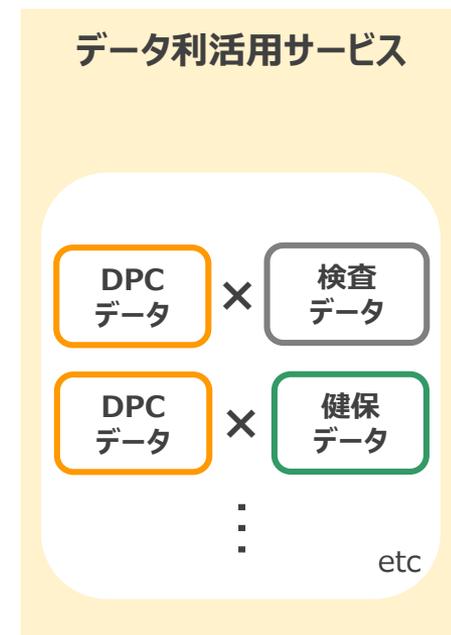
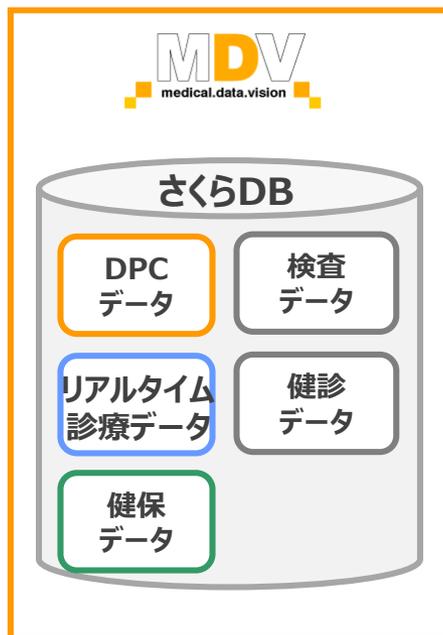
## ✓ 既存事業の成長加速

- ・圧倒的な患者数
- ・豊富な情報量
- ▶ 圧倒的 patient 数の大規模診療データベース
- ▶ DPCデータの豊富な情報量（データ項目、疾患情報）により、幅広いニーズに対応が可能
- ▶ DPCデータと健保データを組み合わせた分析ができるのはMDVだけ

	DPCデータ	健保データ
患者数 (2021年6月末時点)	3,641万人 日本国民4人に1人に相当	600万人規模
データの特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん初再発、ステージ情報、身長、体重などの情報がある</li> <li>・高齢者データが豊富</li> <li>・全年齢の患者情報がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の医療機関を受診した人のデータをトラッキングすることができる</li> </ul>
疾患情報の特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん、急性期疾患の情報中心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽度疾患、慢性疾患の情報中心</li> </ul>

- ✓ 既存事業の成長加速
  - ・データ分析の拡張性

## ▶ 複数種類のデータを保有していることでデータ分析の質・幅が広がる



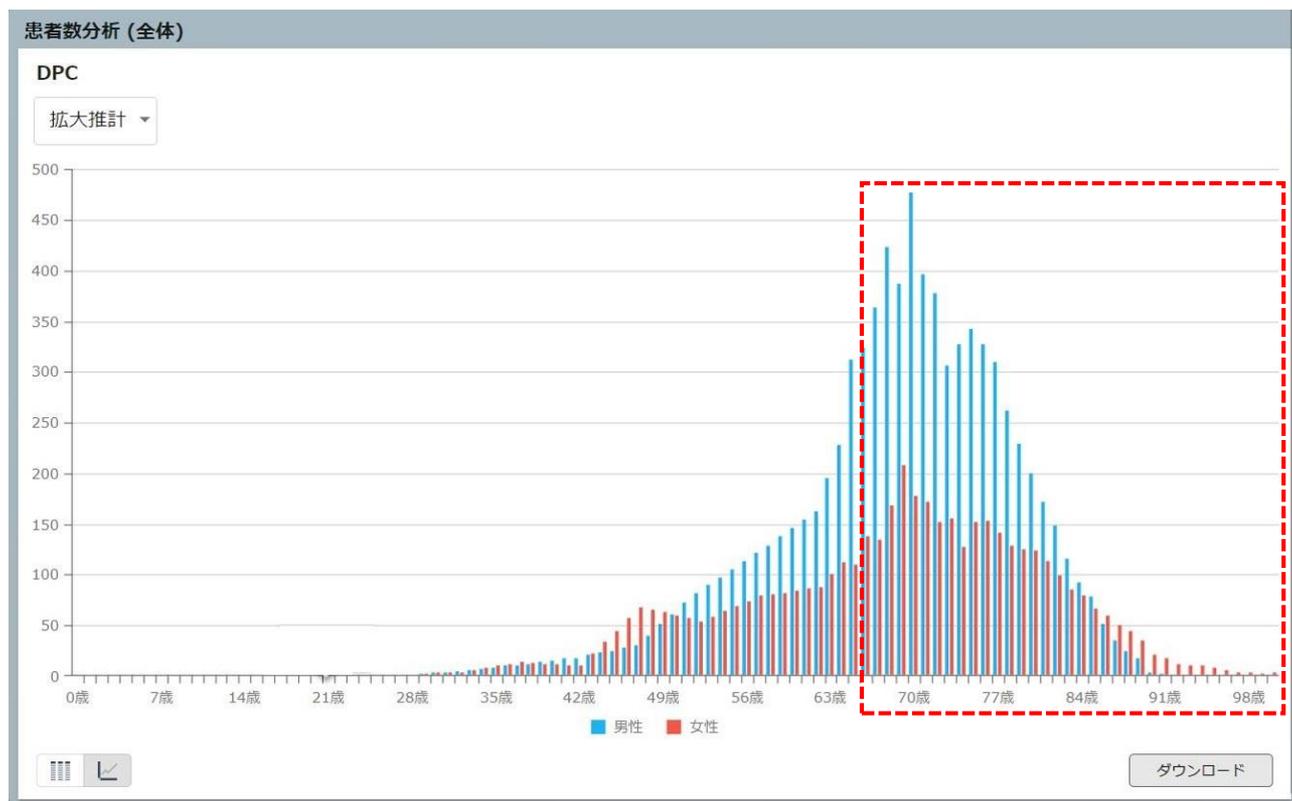
顧客基盤が病院だから、院内にある  
様々な診療データの取得が可能

データをかけ合わせた  
サービス提供が可能

## ✓ 新サービスによる成長加速

### MDV analyzer拡大推計機能のローンチ (2021.7.1~)

#### ▶ DPCデータと健保データを活用することで、精度の高い拡大推計を実現



健保データは高齢者情報が少ない  
(後期高齢者情報は存在しない)  
ため、DPCデータを活用することで  
精度の高い拡大推計となる

## 医療動画メディア（Doctorbook）

### 医療DXを追い風に事業加速

歯科領域



COVID-19を機に的確にニーズをキャッチし、引き続き業績好調

医科領域



製薬会社からの引き合い増え、着実に業績伸ばす

## 健診システム（システム ビー・アルファ）

### 新規連結効果による業績貢献



健診システムの拡販



健診データの取得、医療データの一元化加速

## 「カルテコ」の普及促進、BtoCサービスへの事業展開

### 病院での「カルテコ」導入加速

#### 大原綜合病院（福島県）

##### NEWS RELEASE

2021年3月15日  
一般財団法人大原記念財団  
メディカル・データ・ビジョン株式会社（東証一部 3902）



#### 福島県初、大原綜合病院「CADA-BOX」導入決定 ～医療ICTを活用した PHRシステム「カルテコ」運用へ～

一般財団法人大原記念財団(理事長：佐藤勝彦)は、医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之)のデジタル健康ソリューション「CADA-BOX」を導入することを決定したことをお知らせいたします。「CADA-BOX」に付帯されている、患者が自身の健康診断情報や診療情報を保管し、スマートフォンなどいつでも閲覧できるWEBサービス「カルテコ」により、一生の健康・医療情報を自ら管理できるPHR(パーソナルヘルスレコード)の運用がスタートします。



##### 【佐藤勝彦理事長のコメント】

近年、デジタル化が急速に進み日本の世界におけるスマートフォンの保有割合は8割を超え、知りたい情報をその場で検索・閲覧できる時代になりました。また、交通機関や買い物などモバイル決済が可能になり、デジタル化は私たちの生活を便利にするものとなりました。

従日本大震災の際は、お薬手帳の紛失により処方が必要な薬が手配できなかった患者さんも多くおりましたが、新型コロナウイルス感染症の流行期では、自宅に居ながら診療・投薬が受けられるオンライン診療も普及してまいりました。

私たちは、誰が検討しているPHRを中心とした医療データの活用に関心し、今後、当院で導入する「カルテコ」の活用によりPHRが可能になります。PHRとは、個人の健康・医療・介護に関する情報を自分自身で生じわたって管理・活用することで、自己の健康状態に合ったサービスの提供を受けることができると目指すものです。

PHRを積極的に活用すれば、自分自身や家族の健康診断での疾病の早期発見、治療・療養生活の質向上、生活の質(QOL)の向上につながることを信じています。

##### 【大原綜合病院の概要】

- 開業：1892年1月
- 開設者：佐藤勝彦（一般財団法人大原記念財団理事長兼院長）
- 所在地：福島県福島市上町6番1号
- 病床数：353床
- 理念：「人を愛し 病を究める」
- 機能：地域医療支援病院、救急告示病院（二次救急指定病院）、地域産科周産期母子医療センター、DPC標準病院、臨床研修指定病院、日本医療機能評価機構認定病院

#### 賛育会病院（東京都）

##### NEWS RELEASE

2021年4月28日  
メディカル・データ・ビジョン株式会社（東証一部 3902）



#### 東京墨田区の賛育会、PHRシステム「カルテコ」導入決定 健診情報からスタート、未病対策・療養生活の質向上へ

社会福祉法人賛育会（東京都墨田区）が運営する賛育会病院（院長：高本真一）は、医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之)が開発・提供するPHR（パーソナルヘルスレコード）システム「カルテコ」を導入することを決定いたしましたのでお知らせいたします。「カルテコ」は患者や健康診断の受診者が、自身の診療情報や健診情報を保管し、スマートフォンなどいつでも閲覧できるWEBサービスです。

賛育会のPHRサービスはまずは、健診情報を閲覧可能にするところからスタートし、その後、閲覧対象を更に拡大していく計画です。健診結果を、スマホなどで簡単に確認できるようにすることで、受診者の医療・健康リテラシーを向上させることが期待されるほか、健診で何らかの異常や所見が認められた方に見られるように、適切に受診勧奨をすることを通じて、高血圧や糖尿病など慢性疾患の重症化を予防していきます。



##### 【高本院長コメント】

私は院長就任にあたり、「患者さんと、ともに生きる」という理念を掲げました。その中で、国が検討しているPHRを中心とした医療データ活用を先駆けて、このたび導入する「カルテコ」でPHRを実現します。PHRは個人の健康・医療に関する情報を自分自身で生じわたって管理・活用することで健康状態に合ったサービスの提供を受けることを目指すものです。PHRを積極的に活用すれば患者さんが医療に主体的に取り組むことができ、疾病の早期発見、療養生活の質向上につながり、ひいては生活の質(QOL)が向上すると信じています。

##### ＝高本院長 略歴＝

1947（昭和22）年生まれ、愛媛県松山市市、東大医学部名誉教授、外科医（専門は心臓血管外科）。三井記念病院院長など歴任、2021年4月から現職。著書は「患者さんに伝えたい医師の心」（新潮新書）など。

##### 【社会福祉法人賛育会 賛育会病院の概要】

- 開業：1918年（大正7年）3月16日
- 院長：高本真一
- 所在地：東京都墨田区太平3-20-2
- 病床数：199床
- 診療科：産婦人科、内科、小児科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、緩和ケア科、麻酔科
- 付属施設：健康管理センター、母子保健推進室（ほほふんルーム）
- 関連施設：賛育会訪問看護ステーション

#### 甲賀病院（静岡県）

##### NEWS RELEASE

2021年7月6日  
メディカル・データ・ビジョン株式会社（東証一部 3902）



#### 静岡県初、甲賀病院がPHRシステム「カルテコ」導入決定 地域のひとりひとりの健康・尊厳を守る「コミュニティーホスピタル」に

社会医療法人駿甲会（静岡県庵原市、理事長：甲賀美智子）が運営するコミュニティーホスピタル甲賀病院（同、院長：甲賀啓介）は、医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之)が開発・提供するPHR（パーソナルヘルスレコード）システム「カルテコ」を導入することを決定いたしましたのでお知らせいたします。「カルテコ」は患者や健康診断の受診者が、自身の診療情報や健診情報を保管し、スマートフォンなどいつでもどこでも閲覧できるWEBサービスです。国が検討しているPHRを中心とした医療データの活用を先駆けて、「カルテコ」の活用によりPHRが実現します。

##### 【甲賀理事長のコメント】

当会は2018年11月、静岡県初の社会医療法人に認定されました。その中で当院は、ひとりひとりの健康と尊厳を守る、地域のための病院「コミュニティーホスピタル」を理念として掲げ、診療情報の提供・開示を含む、患者さんへの説明と同意に基づく診療（インフォームド・コンセント）に積極的取り組みできました。また付属の内視鏡・予防医療センターで、地元企業および各団体の健康事業に取り組み、早期発見・早期治療を実現してきています。



##### 【社会医療法人駿甲会 コミュニティーホスピタル甲賀病院の概要】

- 開業：1989年
- 理事長：甲賀美智子
- 所在地：静岡県庵原市大貫寺2-30-1
- 病床数：407床
- 診療科：内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、呼吸器内科、腎臓内科、ペククワック内科、神経内科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、脳神経外科、呼吸器外科、乳癌外科、整形外科、泌尿器科（人工透析科）、形成外科、皮膚科、眼科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科
- 付属施設：内視鏡・予防医療センター
- 関連施設：MEDICAL FOOD CENTER Swift Turtle Co.、診療所(2施設)、介護老人保健施設(3施設)、認知症対応型共同生活介護施設(3施設)、サービス付き高齢者向け住宅(1施設)、小規模多機能型居宅介護施設(3施設)、通所リハビリテーション(4施設)、デイサービス(1施設)、訪問看護ステーション(1施設)、居宅介護支援事業所(5施設)
- その他：甲賀ライフサイエンス研究所、託児所、学童所、園芸療法課

## <導入の目的・狙い>

患者と診療・健康情報を共有し、

✓ 疾病の早期発見、療養生活の質向上、生活の質(QOL)の向上を実現

✓ 患者・生活者の医療・健康リテラシーの向上

✓ 健診有所見者への受診勧奨、慢性疾患の重症化予防

## 「カルテコ」の普及促進、BtoCサービスへの事業展開

### 多くの**生活者**に喜ばれ、活用されている「カルテコ」

#### ＜活用される理由＞

- ・診療情報（傷病名、処方歴、検査結果値など）
- ・検査画像
- ・健診結果

など**健康・医療情報を自ら管理でき、活用できるから**

#### ■ 無料WEBセミナーに集まったカルテコユーザーの活用事例

- ・外来受診や入院記録、投薬や検査結果といった**自身の受診記録がいつでもどこでも見ることができる。**
- ・検査結果のデータの確認と経過を見ている。**医師にも尋ねるが自分でも調べたりして両方で情報共有できる点がいい。**
- ・母が足を骨折した際に病院から勧められて利用。**骨折箇所の写真をスマホで親族に説明でき、重宝しました。どの病院でも利用できればと思います。**
- ・紙でもらったアレルギー検査の結果を写真で保存し、**他院へ通院した際に医師に見てもらっています。**



## 「カルテコ」の普及促進、BtoCサービスへの事業展開

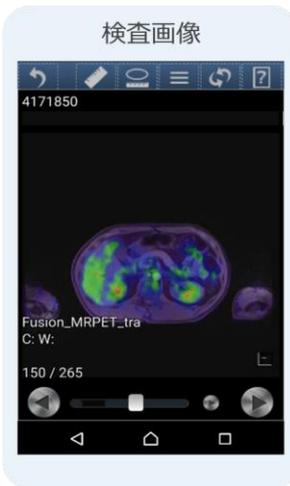
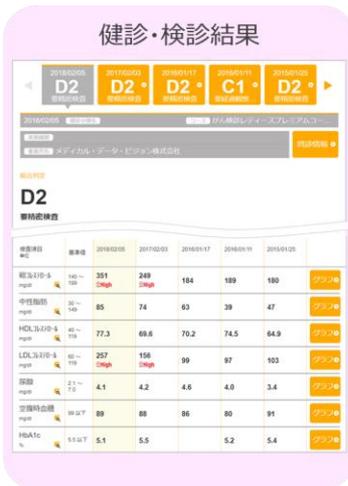
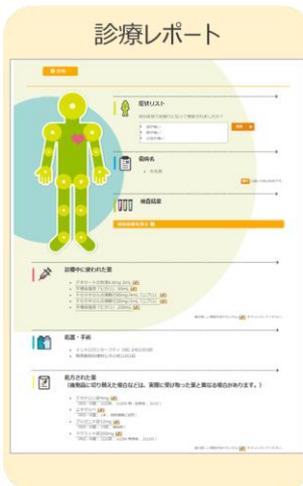
診療情報を共有できるPHRサービスを提供できるのはMDVだけ

### ✓ MDVにしかできない理由

- ・医療機関との強い顧客基盤がある
- ・医療ビッグデータの所有・活用に必須な資産を保有している

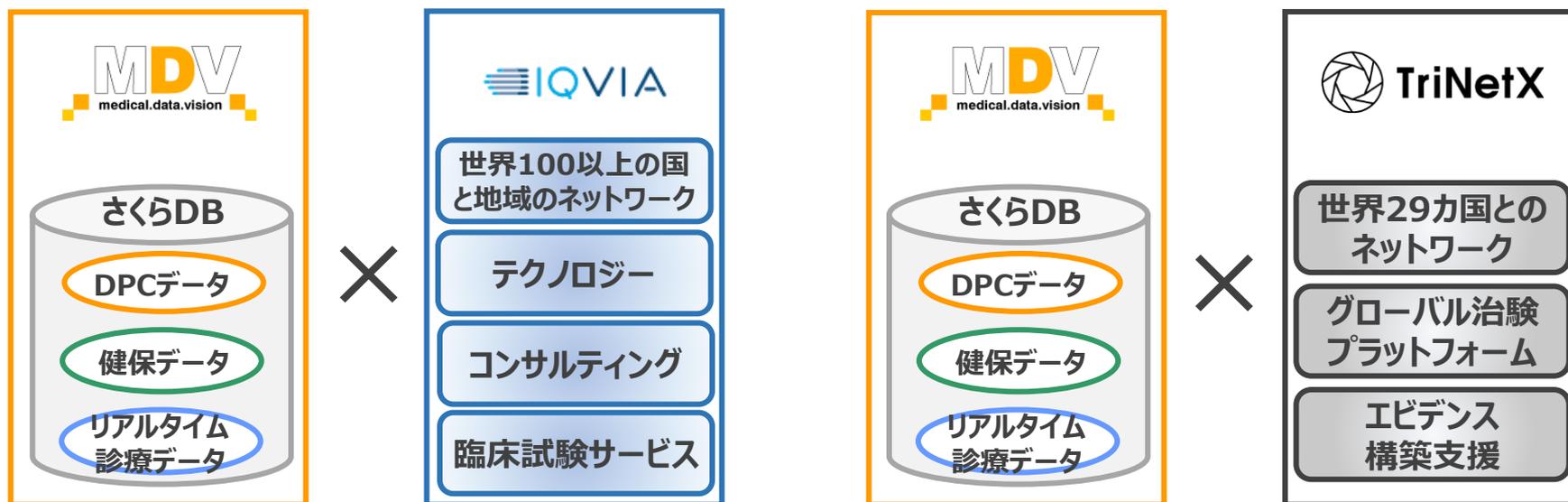


## カルテコ



## 海外展開

### データ利活用サービスの海外展開 IQVIA、TriNetXと連携



- ・グローバル製薬企業や研究機関でのマーケティング、臨床研究におけるフィージビリティ（事業化調査）への対応
- ・グローバル製薬企業など海外領域における営業強化

## 参考資料

### さくらデータバンク（大規模診療データベース）の価値

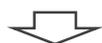
## 圧倒的な患者数

- ✓ より多くの症例数が取得可能
- ✓ 難病や希少疾患などの情報も効率よく取得可能

### ■ 事例

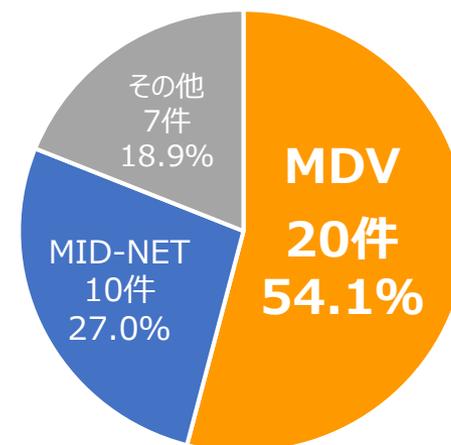
#### 製造販売後DB調査

製造販売後DB調査の重要なポイント  
⇒ より多くの患者で比較調査すること



量・質ともに圧倒的な診療データベース  
の当社が多く選択

<製造販売後DB調査予定件数>



・実施予定件数52件（うち、DB未定15件） ※2021年6月時点  
・DB未定件数を除いた割合

**製造販売後DB調査の半数以上はMDVが対応**

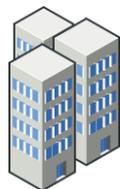
## ✔ 豊富な情報量（データ項目、疾患情報）だから、幅広いニーズに対応が可能

		DPCデータ	健康保険組合データ
メリット		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者データが豊富（疾患情報が豊富）</li> <li>・院内の他の医療情報と組み合わせることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の医療機関を受診した人のデータをトラッキングすることができる</li> </ul>
デメリット		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の医療機関を受診した患者のデータを追うことができない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のデータがほぼ取得できない</li> <li>・院内の他の情報と組み合わせることができない</li> <li>・他の健康保険組合に移った人のデータを追うことができない</li> </ul>
データ項目	性別・年齢	○	○
	病名	○	○
	投薬情報	○	○
	手術・処置情報	○	○
	重症度 (がん初再発、ステージ情報、身長、体重など)	○	×
	検査結果	△ (一部取得可能)	×
データ特性	高齢者情報	○	△
	がん、急性期疾患情報	○	△
	軽度・慢性疾患情報	△	○

## 活用事例



### ■ 主な活用先



製薬会社



医療機器・材料会社



アカデミア



研究機関

### ■ 活用目的（例）

- ・製造販売後データベース調査
- ・薬剤の処方実態調査（疾患別、診療科別）
- ・プロモーション情報収集、エビデンスの抽出
- ・ターゲット探索、分析
- ・疾患発症要因の分析
- ・安全性や有効性の検証、エビデンスの抽出
- ・フィージビリティ調査
- ・研究用データ
- ・適用拡大                    etc

## ■ 2021年12月期 第2四半期 補足資料

[https://ssl4.eir-parts.net/doc/3902/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym/104465/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/3902/ir_material_for_fiscal_ym/104465/00.pdf)

## ■ IRに関するお問合せ

<https://www.mdv.co.jp/contactus/form.php?classification=7>

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。